

北太平洋海洋科学機関（PICES：パイセス）の概要 (North Pacific Marine Science Organization:PICES)

1. 設立

1992 年、「北太平洋の海洋科学に関する機関(PICES)のための条約」に基づき設立。

2. 加盟国：日本、韓国、中国、米国、カナダ、ロシアの6カ国

※事務局は、カナダ、ブリティッシュコロンビア州、シドニーに所在。

3. 目的及び関係海域：

- ・北緯 30 度以北の北太平洋とそれに接する海域の生物資源や生態系と環境、気候及び人為的な環境との相互作用などに関する研究の促進と、そのための国際協力。

4. 組織及び運営：

- ・各国 2 名ずつの代表で構成される総務会（GC）の下に、事務局の他、常設の組織として各国からの委員で構成される行財政委員会（F&A）、科学評議会（SB）、分野別に 5 つの科学委員会（BIO、FIS、HD、MEQ、POC）及び 2 つの技術委員会（MONITOR、TCODE）、そして 1 つの科学運営委員会（FUTURE-SSC）を設置。
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構藤井徹生理事が総務会議長を務める。
- ・我が国代表は、外務省総合外交政策局軍縮不拡散・科学部国際科学協力室長と水産庁増殖推進部参事官が総務会委員として、水産庁増殖推進部研究指導課水産研究専門官、課長補佐（企画調整班担当）が行財政委員会委員として参画。
- ・国内の関係省庁は、外務省、水産庁の他、国土交通省（海上保安庁、気象庁）、環境省、文部科学省。